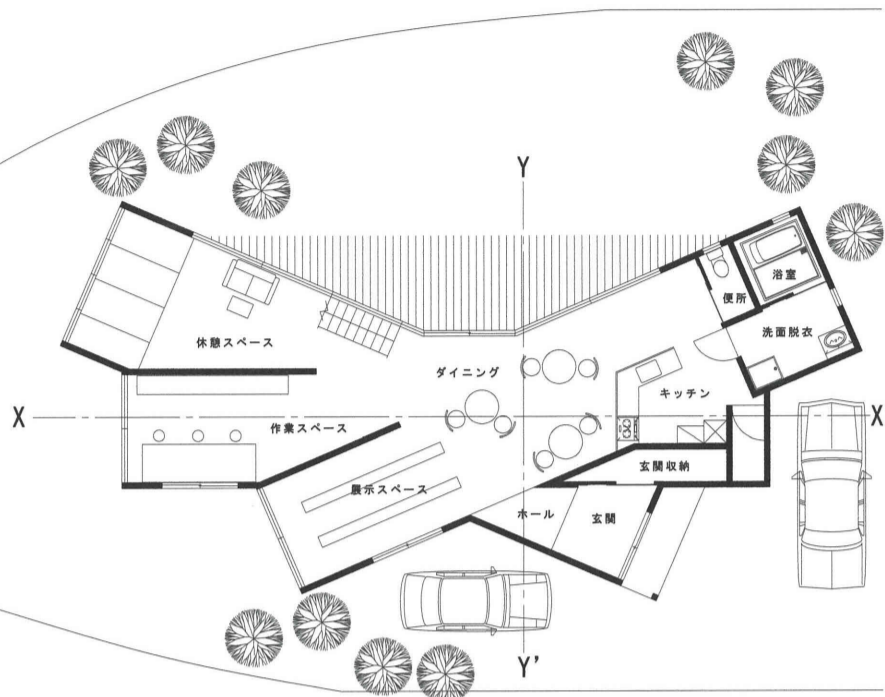


私の住みたい家

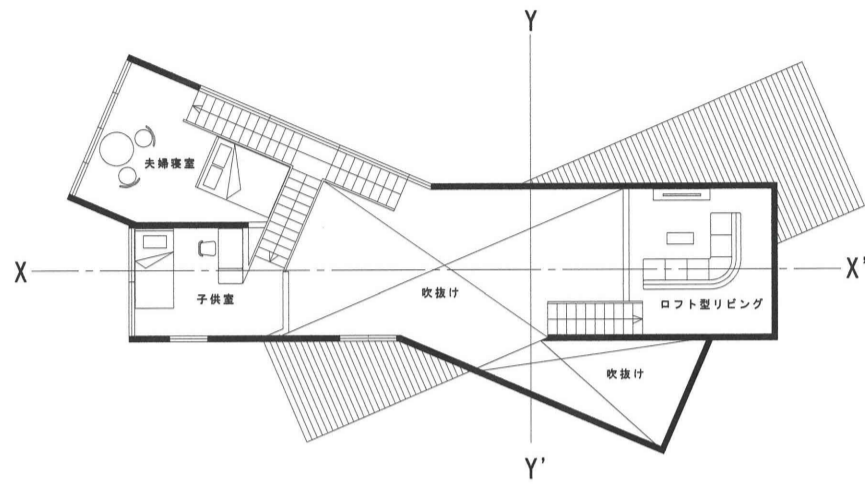
～目で見て、体験して感じる伝統を繋ぐ家～

私は、島根県大田市温泉津町出身です。温泉津は歴史深く、伝統的街なのでそれを生かした設計をしたいと思い、この家を設計しました。この家の一番のポイントは家の形です。温泉津町にある「登り窯」をイメージしました。なので屋根はそれぞれ勾配をつけ「登り」という部分を表現しました。そして、この家のもう一つポイントは3つに分かれているところです。この3つは23° 27' の角度になっていて、冬至から夏至までの四季すべての夕日を

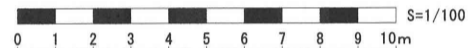
見ることができます。なので西側は全面ガラス張りにし、夕日を取り込みます。そして東側からみたときに、窯の中で炎がもえているのを表しました。中からも外からも、「登り窯」を感じられます。1階は焼き物を作ったり、見たり、来てくれた人たちが話したり、伝統を繋ぐことも考えました。北側にもガラス面を大きく設置したのは、海の向こう側に広がる温泉津の町並みを一望できるようにしました。



配置図 兼 1階平面図 S: 1/100



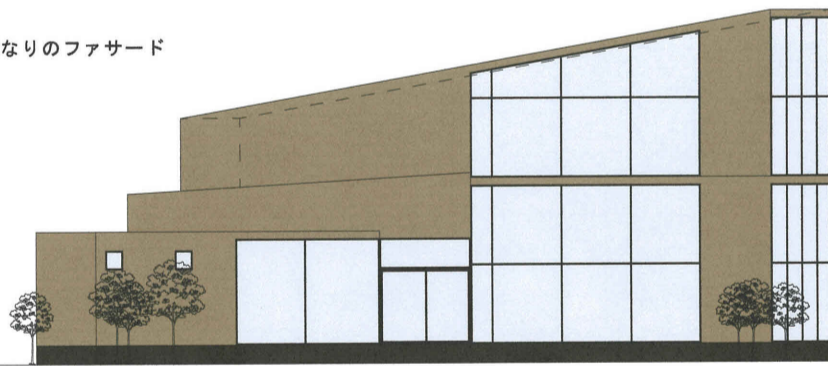
2階平面図 S: 1/100



島根県立松江工業高等学校 建築都市工学科 中嶋涼夏

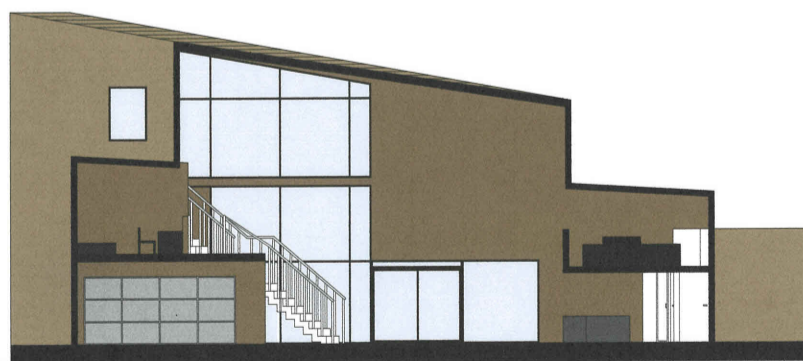


南立面図 S: 1/100

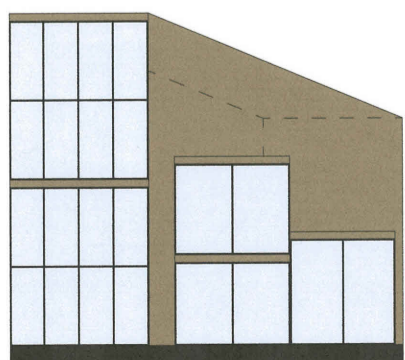
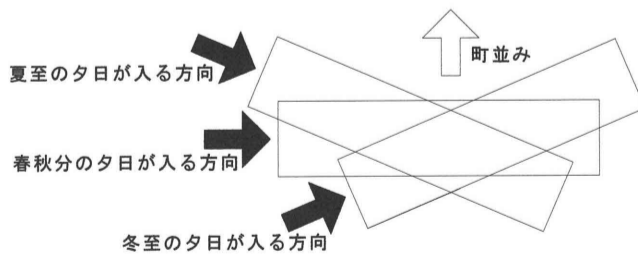


北立面図 S: 1/100

「登り窯」をイメージした屋根の重なりファサード



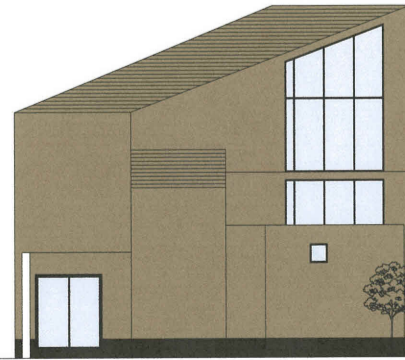
X-X' 断面図 S: 1/100



西立面図 S: 1/100



Y-Y' 断面図 S: 1/100



東立面図 S: 1/100

島根県立松江工業高等学校 建築都市工学科 中嶋涼夏